



4/16-17
BIWAKO
SPORTS LAND



5/28-29
AUTO PARADISE
GOTENBA



6/18-19
FESTIKA CIRCUIT
MIZUNAMI



7/23-24
KOBE
SPORTS CIRCUIT



8/27-28
NAKAYAMA
KART WAY



10/22-23
SUZUKA
CIRCUIT

酒井夢良、全日本2戦目で表彰台獲得!



2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第2戦

■開催日: 5月28~29日 ■開催場所: 静岡県・オートパラダイス御殿場 ■天候: 晴れ ■路面状況: ドライ ■参加台数: 22台

全日本カート選手権西地域の第2戦は静岡県のオートパラダイス御殿場 (APG) で開催された。全長975m、アップダウンが特徴的でハイスピードコースのこのサーキットは、今年中の移転が予定されているため、去年よりも2か月以上早く開催されることとなった。

レースウィークの金曜日は雨模様、土曜日は曇り空で肌寒いほどの気候となったが、決勝が行われた日曜日は、強い日差しが照りつけて気温が上昇していく。そんな中でのタイムトライアル、Aグループで出走した酒井は、アタックを中断して位置どりを変更するなど冷静な判断を見せ、終盤に39秒851を叩き出し、総合で3位につけた。



YAMAHA Racing Jr

ヤマハレーシングのジュニアチームとして全日本カート選手権 FS-125部門の選手サポートを行うことにしました。本年は同西地域に参戦する酒井夢良選手のサポートを行います。

尚、当プロジェクトは、サポートするチームは固定せず選手に対するサポートとし、毎年ヤマハが支援する選手を選考します。

▶ 監督	高橋 和則
▶ アドバイザー	北條 裕
▶ ドライバー	酒井 夢良



第2戦 タイムトライアル：3位 予選：4位 決勝：3位

予選ヒート (20周)

後半に照準を合わせたセッティングで臨んだ予選で、スタートを決めて2番手に浮上するも、序盤はペースが上がらず、第2集団の先頭で4番手争いを展開した。中盤で調子が上がり始めると、後方を離して3番手に接近する。ここからはアンダー症状に悩まされながらも順位をキープし、単独での4位フィニッシュとなった。

決勝ヒート (28周)

オープニングラップは、スタートで1ポジション落としたものの、練習走行で自信を得たというブリヂストンコーナーですぐに前車をパスし、トップが逃げ始めてからは3台で2位争いを展開する。中盤は4・5番手で推移したが、終盤、2位の選手のペースが落ちてからは4台でのバトルが一気に加熱した。戦況を見極め、残り2週のブリヂストンコーナーで前車のインを突き3番手に浮上すると、ファイナルラップも守り切って、初めての表彰台を獲得した。

2016年全日本カート選手権 FS-125 西地域 第2戦 リザルト (22台)

Pos.	No.	Driver	Team	Lap
1	20	井本 大雅	TAKAGI PLANNING	28
2	30	丹澤 慧斗	Tech Miyazawa Snap-on motorsports	28
3	13	酒井 夢良	YAMAHA Racing Jr	28

高橋 和則 監督

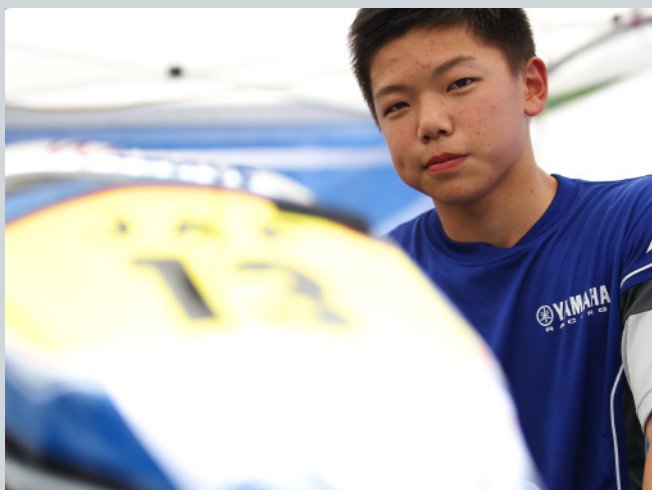
開幕戦がリタイヤだったので、ドライバーのプレッシャーは大きかったと思いますが、テストや練習の際にトラブルが解消し、プラスに向けたのがよかったですね。大学教授を招いた講義でフレームの構造や理論を学び、状況に応じたセットの意味を理解したことで、走り方にも応用出来るようになりました。

表彰台に立つ実力はあるドライバーですが、細かいところを詰めていかないと成績につながらないのが全日本。バトルの時に迷いが出て、チャンスを逃していたのも悔しいところです。

向上心を持って、弱点をつぶし、足りない部分は努力を続けてレベルの最低ラインを上げていき、最終戦までには優勝したいですね。

73 酒井 夢良 / Yura SAKAI

AGE:14



今回は練習段階で攻めていけるポイントを見つけられ、路面の変化にセットをどう合わせるかという課題もクリアできたので、自信を持って臨みました。

決勝ではアンダー症状も改善され、トップに近いタイムで走っていたのですが、先を読む力が足りず、バトルのタイミングを逃してしまいました。

今回の結果は「次に向けての3位」だと思っています。まだ体力面はもの足りないし、全然満足は出来ていません。

次戦のフェスティカサーキット瑞浪は地元ですが、KFクラスも開催されることで、路面はもっと熱く重くなります。体力づくりと共に、イメージトレーニングも重ねていきたいと思っています。